

- ▶ 山辺町では、林業就業者の高齢化が著しいうえ、不在地主による手入れ不足の人工林が増加していることから、森林環境譲与税を財源として、現在の森林の管理状況の現地確認及び分析等を行った。この調査を基に、今後の意向調査などを実施し、森林経営管理制度を活用するなど、森林整備を推進する方針。
- ▶ 令和2年度においては、森林面積842haの経営状況の現地確認及び分析を行っており、今後、全森林面積での経営状況の現地調査及び分析により、森林経営管理制度を活用した森林整備の意向調査などに活用していく予定である。

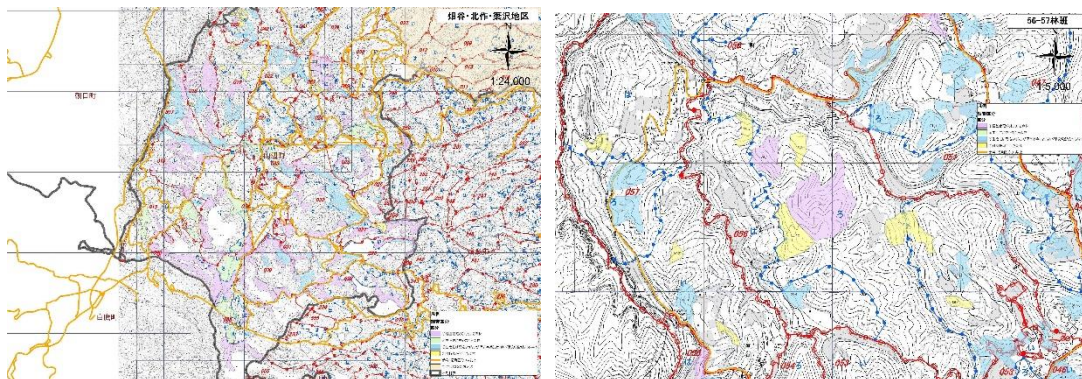
## □ 事業内容

### 1 森林経営状況分析業務

- ・現在の森林の現地確認を実施し、それに基づいた経営状況の分析を行った。

【事業費】2,255千円（全額譲与税）

【実績】842ha



(1 森林経営状況の現地調査の結果)

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・森林の現地確認の実施後に、管理森林、生産性がある森林、生産性が見込まれないが森林環境が整えられる森林、維持管理ができない森林とに区分し、今後の森林経営管理制度の活用ができるように分析を行った。

## 基礎データ

①令和2年度譲与額	4,810千円
②私有林人工林面積（※1）	1,389ha
③林野率	52%
④人口（※2）	14,372人
⑤林業就業者数（※3）	18人

※1：「山形県林業統計（令和元年度末現在）」より、

※2「H27年国勢調査」より、※3：「2015農林業センサス」より